



頬にあたる風はまだ冷たいですが、自然界の動植物はもう春へ向かう準備を始めています。私たち人間も同じですね。朝、日の出が少し早くなるだけで動き出したい！という気になりませんか？

3月から4月は、大人はもちろんお子さんたちもひとつの区切りを迎える季節です。背筋が少しシャンとしますね。

春に向かう気候は三寒四温(さんかんしおん)と言われ、字のごとく、暖かさと寒さを繰り返していきます。体調を崩しやすい時期ですので、お気をつけください。



## 『だって、お母さんが、いないんだもん・・・』

幼稚園や保育園の入園説明会も済んだ頃でしょうか？

入園を控えて楽しみが増しているお子さんもいれば、今から「園には行かないもん！」と宣言しているお子さんもいるかもしれません。

「だって、お母さんがいないんだもん」

これは入園後しばらく泣いていたお子さんが話してくれた、『ボク』が泣いていた理由です。

そう！今までは園開放もひろばへ遊びに行くのもお母さんと一緒。分かっているけど、一人は不安なんです。そして、不思議なことに大人の不安は、子どもにも伝わります。初めての集団生活は泣くのが当たり前。個人差はありますが、だんだん慣れていきますので大丈夫ですよ。

焦らず、慌てずが肝心です。ご心配なことは遠慮せず、担任はもちろん、園の職員誰でも結構ですので、お声がけください。

## ～だいじょうぶ、だいじょうぶ～

子育ての不安は、親だからこそ！なのですが、周りと比べて不安になってしまうことが多いのかな？と感じます。

2週間ごとにひろばを回らせていただいている私たちが、皆さんのお子さんに会うのは2週間ぶりだったり1か月ぶりだったり。そこで思うのは、「しっかりしてきたね」「大きくなったね」ということ。たまにお会いするからこそその、成長を感じます。

周りではなく、少し前のAちゃんと今のAちゃんを比べると、ほら！どうですか？

+ (プラス) の視点で見ると、気づくこともたくさんあり、肩の力が抜けますよ。



## 『六つになった』

一つ的时候は、なにもかもはじめてだった

二つ的时候は、ぼくは、まるっきり

しんまいだった

三つ的时候、ぼくは やっと ぼくになった

四つ的时候、ぼくは おおきく なりたかった

五つ的时候には、なにからなにまで

おもしろかった

今は六つで ぼくは ありったけ おりこうです

だから いつまでも 六つでいたいとおもいます

ご存知の方も多いと思います。「クマのプーさん」の作者、アレキサンダー・ミルンの詩です。

自信に満ち溢れた子どもの姿が、浮かんでくるようです。こんなふうには、子どもが自ら伸びていこうとしているとき、大人はどう寄り添えばいいのでしょうか。

一年間コーディネーター通信を読んでいただき、ありがとうございました。